

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	現状について取り組みを行っていますが、和歌山弁特有の‘キツさ’が時折みられることがある。また、ベテラン・中堅・新人と段階別に分けての継続的な指導が出来ていない。	入居者の方々が穏やかに安心して暮らせるように支援する。	『敬語を使う』ことを常に意識しながら接する。『出来て当たり前』なことをしっかりと全員が理解して継続して行っていく。現場責任者は、不適切な場面を見つけたら注意・指導していく。	3ヶ月
2	5	『身体拘束をしないケア』の徹底を法人が計画している介護講習会を通じて実際の現場にも役立てているが、更なる理解を深める必要がある。	定期的の問題提起をしながら身体拘束に対する理解を深める。	勉強会を通じて、日頃の業務の中に身体拘束に繋がりそうな事例はないか？を確認・探っていく。新人の方には、施設の特徴・方針等をしっかりと説明し理解してもらおう。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。